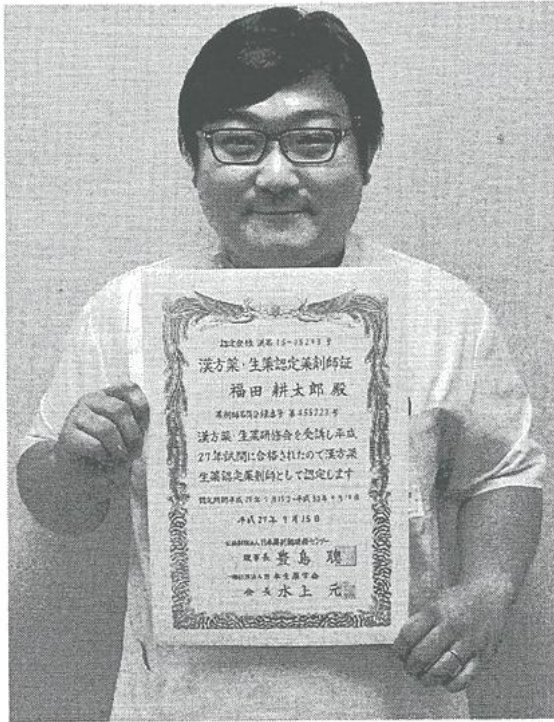


漢方薬・生薬認定薬剤師に

製鉄記念室蘭病院の 福田耕太郎さん認定



元気に日常生活を送れるように、手助けができれば」と話している。

(松岡秀宜)

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の薬剤師、福田耕太郎さん(29)がこのほど、日本薬剤師研修センターと日本生薬学会の「漢方薬・生薬認定薬剤師」に認定された。「患者さんのために知識を生かして業務に励みたい」と意欲を燃やしている。

同センターと同学会は2000年(平成12年)、漢方薬、生薬に関わる専門的知識を習得し、試問に合格した薬剤師を認定する制度を設置した。全

国で2791人(14年度末現在)が認定されている。

福田さんは、摂南大学薬学部(大阪府)で、同大付属薬用植物園での実習や学園祭の出し物などを通じて、漢方薬、生薬に携わる機会が多かったという。今年4月、製鉄記念室蘭病院へ入職。認定薬剤師を目指して研修などに参加、同年9月に認定を受けた。

体の免疫力や抵抗力を高めるように、薬を組み合わせた体元気にする。東洋医学の考えは、漢方薬や生薬の種類が多いため、必然的に豊富な知識も必要になってくる。同病院では初の認定。「飲み合わせなどの相互作用を考えながら、知識の活用を」と期待を集める薬剤部長(近藤寛也)と期待を集める中で、福田さんは「知識を生かして、患者さんが

漢方薬・生薬認定薬剤師に認定された福田さん